

平成4年9月30日

写真にみる豊島60年のあゆみ展

10月1日～8日まで豊島区民センターで、

10月11日～12月13日まで区立郷土資料館で開催

豊島区は、明日10月1日に区制施行60周年を迎えるが、区立郷土資料館では、これを記念した特別展『写真にみる豊島60年のあゆみ展』を、1日から8日まで豊島公会堂隣の豊島区民センター(東池袋1-20)で開催する。開場時間は午前10時から午後7時まで。なお、11日からは郷土資料館(西池袋2-37)に会場を移して12月13日まで展示する。資料館の開館時間は午前9時から午後5時15分。いずれも入場無料。

会場には、『豊島の黎明』『都市化と関東大震災』『都市化の進行と区制施行』『戦時下の区民生活』『戦後復興とヤミ市』『高度成長の時代』など年代を追ったコーナーが設けられ、その時代時代を見事に捕えた約200点の写真がパネル展示される。

展示される写真は、これまで区によって収集され郷土資料館が保存していた膨大な写真資料をはじめ、この特別展のために新たに区民などから提供を受けた約800点もの写真の中から特に選ばれた『豊島60年のあゆみ』を浮き彫りにする貴重なもののばかり。

また、『豊島区点描』と題したコーナーでは、豊島区の母体となった巣鴨町・西巣鴨町・高田町・長崎町の旧四町それぞれに特色ある風土が興味深く表現された写真も展示される。なお、会場では展示写真を収録・解説した図録を1部400円で頒布する。

郷土資料館では「時代時代の人々の営みや景観などの変遷を通して、豊島区がこれまで歩んできた歴史を、区民の皆さんとともに考えてみたい」と話している。

詳細 郷土資料館